

第1・2学年 国語科学習指導案

日時 平成22年10月5日(火) 5校時
場所 2年教室
児童 2年 男子7名 女子 6名
1年 女子1名 計14名
指導者 2年担任 村上 久美子
1年担任 鈴木 優子
(ひかりサポート 村井 修子)

1. 単元名 友だちにわかるように話そう

「あったらいいな、こんなもの」(光村 2年上)

2. 児童の実態

2年生の児童は1学期、「ともこさんはどこかな」(光村)で、大切なことを選んで順序よく話したり、人物の特徴を落とさずに聞いたりすることを学習した。また、授業や朝の発音練習、詩の音読等とおして「口形のはっきりした発音」や「よい姿勢」が身につくように取り組んできた。朝の会では、自分の体験したことや出来事をみんなの前で話す短いスピーチを行っており、主述に気をつけて話したり、友だちの話を聞き返したり、知りたいことを尋ねたり、質問に沿って答えたりする力を育てることも取り組んできた。しかし、相手に応じて丁寧な言葉で話したり、相手に分かるように事柄を順序だてて話したりできるようになるためには、まだまだ繰り返しの指導が必要である。また、集中して聞き、はっきりとした声で話すことのできる子どもも多いが、正確に聞き取ることができない子、大勢の人や知らない人の前では、言葉に詰まったりする児童もまだいる。学級の友達だけではなく、様々な人の前で話したり意見を言ったりする学習経験を積み重ねさせ、自信をもたせていく必要も感じている。

1年生1名については、毎朝のスピーチタイムの中で、丁寧な話型で話すこと、教師からの質問に答える形で内容をふくらませることに取り組んできた。1文～2文程度を簡単な話型で話すことには慣れてきたが、丁寧な言葉で質問に答えることができるまでにはいたっていない。

3. 単元について

学習指導要領における第1学年及び第2学年の「話すこと・聞くこと」の目標は、「相手に応じ、身近なことなどについて、事柄の順序を考えながら話す能力、大事なことを落とさないように聞く能力、話題に沿って話し合う能力を身につけさせるとともに、進んで話したり聞いたりしようとする態度を育てる。」である。

本単元では、楽しく空想した内容について互いに尋ねたり、応答したり、感想を述べたりできるようにすることを目標としている。そのために「話し方の工夫」「聞くことの大切さ」「話題に沿ったやり取りを通しての内容の充実」を指導の重点とする。2年生の児童にとっての「話し方の工夫」には、「順序性」や「話す姿勢」の指導が、また、「聞くことの大切さ」には、「聞く観点」や「聞く姿勢」の指導が関わってくると考えられる。

本単元では、絵を描いたりスピーチメモをつくったりすることは、児童が自分の考えをふくらませることができるようにするための重要なよりどころとなる。同時に、

スピーチメモや絵を持って話すことによって、話し手は、安心して、順序よく、スムーズに話をつなげていくことができ、また聞き手の児童も、絵を見て質問や感想を言うことができるなど、絵は、話し手と聞き手との双方向的なやりとりをしやすくするための大切な要素となっている。

本単元は、話し手の願いに思いをはせ、話される内容や順序に気をつけて聞くこと、紹介の観点に照らして話を聞くことも大切な学習になる。声の大きさや話す量、姿勢などの技能的な面だけにとらわれることなく、話し手の思いや願いに着目しながら、話すことの楽しさを話し手と聞き手とが共有できるようにしていきたい。そのためには、あいづちを打ったり、聞きなおしたりしながら、話し手に楽しく相対するようにさせ、双方向的なやりとりのなかで、楽しく話す・聞くの経験ができるようにしていきたい。

4. 指導にあたって

技能的なことだけにこだわると、集中力が持続しない児童にとっては話す・聞く意欲が低下してしまうことが予想される。互いの興味あることを話したり、それに対してわからないことやもっと知りたいことを尋ねたりするような自然な活動を取り入れ、絵の提示を行うことで、児童が積極的に活動に取り組めるようにしていきたい。

「見通す」段階では、自分がほしい道具や、自分と家族にとって「あったらいいな」と思うものについて、自分の生活を振り返らせたり、二人組で話し合わせたり、絵に描かせたりしながら、楽しくたくさん考えさせたい。教科書に挙げられている観点につながるようなスピーチのモデルを提示し、発表会までの学習の見通しをもたせる。

「深める」段階では、たくさん考えた中から、友だちに知らせたいものを選び、二人組で対話をしながら発表内容について深める。話す内容や順序などについてアドバイスし合い、発表メモを作って発表の下準備をする。スピーチの観点を理解して、落とさずに紹介できるよう、観点毎に色分けしたカードをメモとして使用させる。また、話し手・聞き手の双方向のやりとりが活発になるように、聞き手の興味関心を高める絵を用意させる。つぎに、教科書の例から、スピーチのしかたを知り、個々に練習をする。ここでは、相手が聞き取れるように「はっきり」話すこと、口の開け方、発音、姿勢、丁寧な話し方などを指導したい。1年生にとって、発表メモはむずかしい作業となることが予想される。教師が対話をしながら思いを引き出し、メモづくりを支援していきたい。

「確かめる」段階では、二人組での話し合いを土台に、発表会本番を想定して、三～四人組で発表の練習をし合う。聞き手には、大事なことを落とさずに聞くために、簡単なメモをとることによって、話の順序はどうか、どんなことを質問すれば、あったらいいものがよりわかりやすくなるのか考えながら聞くことを指導する。また、応答練習を受けて、アドバイスしあい、発表会に向けて内容や話し方を発表メモの中に修正する時間を設ける。1年生には、まず、周りの児童の話最後まで聞くことを大事に指導し、応答のしかたを学ばせたい。発言の際は、伝えたい思いを十分に認めたい。うえで、話型や質問された内容に沿った話になるように支援していきたい。

「広げる」段階では、発表会を行い、はっきり話すこと、聞かれたことに考えながら答えることを指導する。今までの学習を振り返って書き、自己評価したり互いに交流しあったりする。

《言語活動を支える5つの言語意識》

- 相手意識 友だちや家族に
- 目的意識 自分があったらいいなと思うものを紹介するために
- 場面・状況意識 家の人を招いて、「あったらいいな、こんなものスピーチ発表会」を開く。
- 方法意識 発表したいものについて、メモや絵にまとめ、話す順序を考えて発表する。聞き手は、話し手の考えたことをよりよく理解するために質問をだしたりしてやり取りする。
- 評価意識 発表したいものについて、はっきりと丁寧な言葉で話したり、聞き取ったことについて質問したり、感想を述べたりしてやり取りすることができたか相互評価や自己評価をする。

5. 学習指導目標

(1) 国語への関心・意欲・態度

- ◎ 自分が「あったらいいな」と考えたものについて、すすんで相手に分かるように話したり、聞き手とやり取りしたりしようとする。

(2) 話す・聞く能力

- 伝えたいものを絵に表し、話す事柄をメモに整理することができる。(話・聞ア)
- 話す順序を考えて、丁寧な言葉遣いで話すことができる。(話・聞イ)
- 姿勢や口形に気をつけて、声の大きさに注意しながらはっきり話すことができる。(話・聞ウ)
- ◎ 質問や感想を考えながら、興味をもって友達のスピーチを聞くことができる。(話・聞エ)

(3) 言語についての知識・理解・技能

- 言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいて話したり聞いたりすることができる。(伝国イ(ア))
- 主語と述語を照応させて話すことができる。(伝国イ(カ))

6. 学習指導計画(14時間 話す・聞く)

段階	学習内容	主な活動	評価規準(話す・聞く)
見通す (3)	スピーチで「あったらいいな、こんなもの」の紹介を行うという学習内容を知り、学習の見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・「ドラえもん」の中で家族の役に立ちそうな道具をあげる。(1時間) ・家族にとって「あったらいいな」と思うものをたくさん考え、二人組で話し合ったり絵に描いたりする。(1時間) ・教師のスピーチを聞いたり教材文を読んだりして、話したいことのメモをつくり、それをもとにスピーチをすることを学ぶ。(1時間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が考えた「あったらいいもの」を紹介するという学習に、興味をもって取り組もうとしている。(発言、質問、行動観察)

<p>深める (5)</p>	<p>紹介したい「あったらいいな、こんなもの」を決め、スピーチのためのメモを作り準備をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさん考えた中から、友だちに知らせたいものを選ぶ。(1時間) ・紹介する観点を知り、スピーチのためのメモをつくる。(1時間) ・説明のための絵を完成する。(1時間) <p>※書1：自分の考えをもつための書く活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書のスピーチ例から、スピーチのしかたを知り、各自でスピーチの練習をする。(2時間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えた「あったらいいもの」について具体的に思い描いたうえで、紹介したいものを決めようとしている。 ・紹介したい内容を、観点にそって発表メモに書いている。(学習シート) ・はっきりとした発音で発表の練習をしている。
<p>確かめる (3) 本時 1/3</p>	<p>分からないことを尋ねたり、質問に答えたり、互いにアドバイスをしたりしながら、スピーチの練習をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・4つのグループに分かれ、お互いにスピーチしたり、それに対して質問をしたり答えたりアドバイスをしたりする。(1時間) <p>※書2：互いの考えを深めるための書く活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表メモに手直しをし、発表会本番での質疑応答や感想交流を意識して、準備・練習をする。(2時間) <p>※書3：自分の考えを深めるための書く活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話題に沿った質問をし、答えている。 ・スピーチをよくするためのアドバイスをしている。
<p>広げる (3)</p>	<p>「あったらいいな、こんなもの」スピーチ発表会を開く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・手直したメモをもとに、学級の友達や招待した家の人に向けて「あったらいいな、こんなもの」紹介のスピーチ発表会を開く。(2時間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き手に分かるように、まとまりごとに順序よく発表している。 ・「あったらいいな」と思うものについて楽しく空想し、発表のよさを考えながら聞いている。 ・互いの話を受けて質疑応答している。

		<p>・発表会での簡単なメモをもとに感想を交流し、互いに交換して学習のふりかえりをする。</p> <p>(1時間)</p> <p>※書4：ふりかえりのための書く活動</p>	<p>・丁寧な言葉遣いで話している。</p> <p>・姿勢や口形に気をつけ、はっきりした発音で話している。</p> <p>・友達や自分の発表をふりかえって書いている。</p>
--	--	---	---

7. 本時の指導

(1) 目標

- 聞き手に分かるように、まとまりごとに順序よく話すことができる。
- ◎ 話す人を見て、質問やアドバイスを考えながら聞くことができる。

(2) 展開

過程	学習内容	話す・聞く能力を高めるための主な活動	教師の支援
5 導入	<p>1 前時の学習の想起</p> <p>2 学習課題の確認</p>	<p>○自分が話す内容を確認する。</p> <p>○前時に作った発表メモをもとに練習していくことを確認する。</p>	<p>・発表会を成功させるために練習することを確認する。</p> <p>・前時に作ったメモの5つの内容を確認する。</p> <p><あったらいいなと思うもの・名まえ></p> <p><つくり></p> <p><できること></p> <p><はつめいしたわけ></p> <p><ねがい></p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>スピーチのれんしゅう</p> <p>・しっかり聞いてアドバイスしよう。</p> </div>		
展開	<p>3 発表と質問のしかたの確認</p> <p>4 グループ毎の練習</p>	<p>○話す観点を確かめる。</p> <p>・メモをもとにじゅんじょよく</p> <p>・絵を見せながら</p> <p>○聞く観点を確かめる。</p> <p>・話のじゅんじょに気をつけて</p> <p>・しつもんすることを考えながら</p> <p>○発表練習の順序を確かめる。</p>	<p>・各自の練習のときと同様にはっきりした声で言うことを意識させる。</p> <p>・例を挙げて全体で練習する。</p> <p>・書き足し方について知らせる。</p>
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>①はっぴょうする。</p> <p>②メモする。</p> <p>③しつもんやアドバイスを する。</p> <p>④くわしくなったことや、ア ドバイスを書きたす。</p> </div>	

35		<p>○発表練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あったらいいなと思うものについて楽しく空想する。 ・どんなことを聞くと、あったらいいものがよりはっきりするか考えながらやりとりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで質問・応答のやりとりが進まない場合は、指名したり、教師のお手本を示したりする。
		<p>※書2：互いの考えを深めるための書く活動（学習シート）</p> <p>① 聞き落とさないように5つの内容にそってチェックする。</p> <p>② 質問やアドバイスをメモする。</p>	
		<p>具体の評価規準</p> <p><話す></p> <p>十分満足：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵を活用しながら、発表メモにあまり頼らないで順序よく話したり質問に答えたりしている。 <p>おおむね満足：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表メモをもとに、絵をみせながら、順序よく話している。 <p>支援が必要な子への手立て：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表メモを見ても話すことができない子には、作ったメモを再確認させ、順序よくゆっくり話すことや語尾などをはっきり言うように助言する。 <p><聞く></p> <p>十分満足：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メモを取り、話題にそった質問・アドバイスをしている。 <p>おおむね満足：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものの名前と理由など、2～3の観点は落とさずに聞いてメモし、話題にそって質問している。 <p>支援が必要な子への手立て：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話の内容を1つは聞き取れるが質問できない子には「～ですね？」という聞き返しの質問をしてもよいことをアドバイスする。 	
終末 5	5 まとめ 6 次時予告	○本時の学習について振り返り自己評価する。	・自分の聞き方を中心に自己評価させる。

(3) 板書計画

<p>・聞きかた ・聞きたいところ、がんばりたいこと</p>	<p>(かきたしかた)</p>	<p>(れんしゅうのしかた)</p> <p>① はつびようする ② メモする ③ しつもん・アドバイスする ④ かきたす</p>	<p>聞く</p> <p>・お話のじゅんじょを ・しつもんをかながえながら ・あたまのテレビにうつしながら</p>	<p>話す</p> <p>・メモをもとに ・じゅんじょよく ・絵を見せながら</p>	<p>「あったらいいな、こんなもの」</p> <p>(学しゅうのめあて) スピーチのれんしゅう② ◎しつかり聞いて、アドバイスしよう。</p>
------------------------------------	-----------------	--	--	---	---

(4) 座席表

- ① 関心・意欲・態度
興味関心をもって意欲的に学習に取り組んでいる。
- ② 話すこと
伝えたいことが相手に分かるようにはっきりした声で話すことができる。
- ③ 聞くこと
大事なことを落とさないように聞くことができる。

<グループでの学習時>

<p>1 ①◎ ②◎ ③◎</p>	<p>2 ①◎ ②○ ③◎</p>
<p>3 ①△ ②△ ③△</p>	<p>4 ①○ ②○ ③△</p>

<p>5 ①○ ②△ ③△</p>	<p>6 ①◎ ②◎ ③◎</p>
<p>7 ①◎ ②◎ ③◎</p>	<p>8 (1年生) ①◎ ②◎ ③◎</p>

<p>9 ①◎ ②◎ ③◎</p>	<p>11 ①◎ ②○ ③○</p>
<p>10 ①○ ②△ ③◎</p>	<p>11 ①◎ ②○ ③○</p>

<p>12 ①◎ ②◎ ③◎</p>	<p>14 ①◎ ②◎ ③○</p>
<p>13 ①◎ ②◎ ③○</p>	<p>14 ①◎ ②◎ ③○</p>